

平成 27 年度社会福祉法人 おきなか福祉会地域貢献事業講演会

「知的障がい者に導かれた企業経営から

皆勤(共生)社会実現への提言」

日本理化学工業株式会社社長 大山泰弘氏

○開催日時：平成 27 年 11 月 28 日(土) 13:30~15:30(開場 13:00~)

○入場料：無料

○会場：うるま市石川会館大ホール(高速石川インター近く:旧石川庁舎隣)

沖縄県うるま市石川石崎 1-1 ☎965-5630 FAX965-5613

○主催：社会福祉法人 おきなか福祉会 E-mail: okinaka@okinaka.or.jp http://okinaka.or.jp

沖縄県うるま市石川 3259-296 ☎965-0885 FAX965-5931

【大山泰弘氏】



【会場地図】



○講演会開催趣旨

障がい者総合福祉法の 3 年ごとの見直し議論の中で障がい者の就労支援については「福祉から一般就労へ」という流れの重要性を再認識し、地域の中でより多くの就労支援事業所が開設されるよう推進して頂きたいとの提言が出され、障がい者の就労準備段階から定着段階まで支援ができる制度の必要性も併せて提言が出されました。

一方、企業側の障がい者の法定雇用率も引き上げられ、幅広く障がい者雇用が求められる中で、多くの企業側においても障がい者の雇用後の定着へ向けた就業の在り方を模索する状況にあるのが現実です。

そこで日本で先駆的に障がい者の雇用を積極的に進め、個々に見合った環境を整え、能力を引出つつ生産性を高め、働く喜びを健常者、障がい者がともに分かち合う会社を作り上げた日本理化学工業株式会社社長の大山泰弘氏を招いて、平成 27 年度社会福祉法人おきなか福祉会地域貢献事業講演会「知的障がい者に導かれた企業経営から皆勤社会実現への提言」を開催し障がい者就労支援の一助にできればと思います。

○日本理化学工業株式会社の事業目的 【日本で一番大切にしたい会社として紹介】

ダストレスチヨーク、プラスチック部品製造メーカー、国内シェア 40%。従業員数 83 名(うち知的障害者 61 名)H27 年 5 月現在、全体の 73%以上が知的障がい者のある社員。障がいのある社員が、まず今ある能力で仕事ができるように、そしてより能力を高めていけるように作業方法の工夫、改善を行い、環境作りに努めている。

あらゆるコミュニケーションギャップを埋めるためのノウハウ、商品、サービスを開発し発信していくこと、徹底的に障がい者雇用にこだわり、社内でも相手の理解力に合わせてコミュニケーションギャップを埋める活動を通じ、全従業員の物心両面の働く幸せの現場の追及していくことによりよい地域社会、そして皆勤(共生)社会の実現に貢献することを目的としている。

○特別協賛：医療法人沖縄徳洲会(南部徳洲会病院・中部徳洲会病院)

○後援：(予定)沖縄県、沖縄労働局、うるま市、うるま市社会福祉協議会、一般社団法人沖縄県経営者協会、うるま市商工会、沖縄県知的障害者福祉協会、一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会、社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会、沖縄県障害者支援センターがじゅま〜る、沖縄県手をつなぐ育成会、徳洲会協力企業会(百社会、ビジョン 21)沖縄県中小企業家同友会、うるま市就労支援施設ネットワーク連絡協議会、沖縄県セルフセンター、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、FMコザ

○大山泰弘著書：「働く幸せ～仕事で一番大切な事～」 「利他のすすめ」

○講演会参加予定：県内社会福祉施設、就労支援事業所、利用者、保護者、支援学校、行政、企業関係、一般